

～夜間の交通事故防止～

夜間に発生する死亡事故の原因として、ドライバーによる歩行者や自転車の発見の遅れとスピードの出し過ぎが挙げられます。また、発見の遅れは、ヘッドライトが下向き(ロービーム)のために起きています。

夜間にドライバーが確認できる前方の視界は、ヘッドライトが下向きの状態(ロービーム)では約40メートル、上向きの状態(ハイビーム)では約100メートルと大きく異なります。

夜間は特に、スピードダウンに努めるとともに、対向車や前を走る車がない場合は、ヘッドライトの上向き走行を心掛け、歩行者や自転車のいち早い発見に努めましょう。

命を照らせ!

ロービーム ↓

ハイビーム ↑



迫る危険を避けられますか?

視界良好!

夜間、道路横断中の死亡事故多発!

約8割が「右からドン!」です



夜は **ハイビーム!**

こまめに切り替え



警察署・栃木県警察本部

だから ハイビーム!

見えない危険を照らし出せ!

照射距離40メートル



照射距離100メートル



60km/hで走行→停止までの距離約40m

ロービーム走行



ハイビーム走行



ロービームは「すれ違い用前照灯」

こまめに切り替えを